

# 平成25年度 両荘中学校 学校評価

A できている B だいたいできている C あまりできていない D できていない

領域	評価項目	評価	自己評価の顕著な結果・意見等	学校関係者評価	改善策
学力向上	「学習意欲を高めるためのわかる授業づくり」	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの生徒にもわかりやすい授業を目指して、小さなステップで、継続的に、補充学習なども取り入れながら取り組んだ。</li> <li>外部講師から指導助言を受けながら校内授業研究をしており、指導方法の見直しなど授業改善を図った。</li> <li>落ち着いた学習環境を確保するため、学年を越えた協力態勢で臨んでいる。</li> <li>生徒の学習意欲は学年によって差があり、学年が上がるにつれて意欲が高くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校はわかりやすい授業を行っていると考えていない保護者が多いのは教室では教師に質問しにくいのではないかと。また、職員室に入りにくい。職員室前廊下のような相談できる環境づくりの推進が望まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テストなどによる小刻みな理解度チェック、学習目標を意識化させる。</li> <li>学習意欲の低い生徒への、家庭と連携した辛抱強い、あきらめない指導。</li> <li>やらせきる、出しきらせる指導と支援。</li> <li>わからないことを気軽に聞ける雰囲気づくり。</li> <li>生徒の活動を多く取り入れた授業の工夫。</li> <li>授業で、始めの目標提示と、終わりの振り返りをさせる。</li> <li>ペアやグループなど多様な学習形態を取り入れた協同学習の推進する。</li> </ul>
	「自主的・主体的な学習習慣と基礎学力のための家庭学習の定着」	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年で取り組んでいる朝の「百マス計算」はほぼ定着している。朝読書は、確実に本好きを生んでいる。</li> <li>2年生が取り組んでいる「Myコツノート」は確実にやらせ切る指導が行われているため、定着している。ただ、家庭でできていない生徒もいる。</li> <li>家庭での学習課題を学校でする生徒がいる。家庭での過ごし方の見直しが必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家ででの時間の使い方に問題がある。簡単なプリントのような宿題を家でやらせ、学校で授業の直前などに行っているのが現状。班活動の一つとして宿題チェック担当を決めて注意させるとよいのではないかと。</li> <li>小学校でできていた、「帰宅したらまず宿題を片付ける」の習慣を中学校でも継続させたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こまめな点検や指導により、学習習慣の確立していない生徒へのさらなる支援に努める。</li> <li>百マス、Myコツ、天声人語など定着している取組を継続させ、自信につなげさせる。</li> <li>よい変化も悪い変化も学校と家庭が見逃さず、連携を密にし、共同歩調で取り組む。</li> </ul>
規律ある生活	「望ましい生活習慣の育成」	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつや頭髪・服装に関して、生徒によって差がみられる。</li> <li>生活習慣が乱れから、遅刻を繰り返す生徒がいる。</li> <li>生徒指導に関する教員の意識が低い。</li> <li>生徒指導体制が十分機能しなかった。</li> <li>指導内容、指導の徹底についての共通理解が不十分だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつはほとんどの生徒ができています。</li> <li>頭髪など、クラスや先生によって差がみられる。</li> <li>生徒の中で規律を作らせ、それを守るように、生徒会などを使った取り組みをしてはどうか。</li> <li>個人だけではなく、小さなグループを作って評価を行う中で、生徒に規範意識を育てていくのはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭髪服装や遅刻等、決められたことをやらせきよう教員全員が同一歩調で指導する。</li> <li>生徒指導部からの具体的対策の提示により、共通理解を図り、同一基準での指導を行う。</li> <li>自律的な生徒会活動を進める。</li> </ul>
	「生徒理解と信頼関係づくりのための相談活動や個別指導の充実」	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題行動が起きてからの指導になることがあった。</li> <li>生徒との相談活動が、時間的に十分ではなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生と生徒の上下だけの関係では距離は縮まらない。中学生の目線で生徒に接していくことも必要なのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな機会を捉え、生徒と話しをする機会を多く持つ。</li> <li>生徒が活躍できる「場」の設定や機会を持つ。</li> <li>目指す学校、学年、学級を基準にした生徒指導をしていく。</li> <li>カウンセリングマインドも大切にしながらも、迎合でなく、きちんと叱る。</li> </ul>
	「行事や部活動による良好な人間関係づくり」	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事ごとに、目的やねらいをしっかりと持って意図的に指導していくことが重要。</li> <li>部活動の充実につとめ、人間形成につなげていくことを目指した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育祭などの行事に生徒は一生懸命取り組んでいるように見える。</li> <li>「行事や部活動を充実させることで、他も良くなるのではないかと。」</li> <li>球技大会などの行事では先生も参加してはどうか。</li> <li>清掃コンクールなど、各種コンクールなど、いろいろなコンクールを作ってみてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事を通して最後までやり切らせ、生徒と教員が共に達成感を持てるようにしていく。</li> <li>他学年、他の担当職員の指導内容を把握し、行事などの際は連携協力していく。</li> <li>ボランティア活動など、部活ぐるみで活動に参加する。</li> <li>教員も生徒と共に行事等に参加する。</li> </ul>
豊かな心・豊かな環境	「道徳の授業と人権教育」	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の周りでいじめや暴力がないようにしている、という生徒は多く、学年が上がるにつれて成長していることが見られる。しかし、一方で、周囲を気遣えない生徒もいることが問題。自分の身近な友達とは仲良くしているが、クラスや全体の意識を高める行動につなげることが課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめがなく、子どもが安心して過ごせる学校であることが、一番の保護者の願い。道徳、人権教育だけでなく、学校生活全般を通して、人の心の痛みが分かる生徒の育成、いじめの起こらない土壌作りをすすめてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの意見を尊重し、意見を出せあえるクラス、授業、環境づくりをすすめる。</li> <li>正しい行動を認め、正しくない行動を正す毅然とした指導。</li> <li>あたたかい人間関係を育てる指導。</li> <li>生徒の行動や心、人間関係にもっと敏感に気づけるように、教師の意識を高める。</li> </ul>
	「心和む美しい学校を目指した環境づくり」	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の身の周りの整理整頓ができていないことが目立つ。</li> <li>校地の緑化、整美は年々向上している。清掃活動など、意識ある生徒の取り組みは改善しているが、身のまわりの整理整頓ができない生徒が目立ち、教室環境や、全体の印象としては問題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの整理整頓を心がけることは学習環境全体の整美のみならず、周囲への気づかひの心にもつながり、心と学力の向上につながる。整理の手立てを教えることも必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの整理整頓の指導と工夫を図る。</li> <li>清掃指導の工夫</li> </ul>
信頼される学校	「学校生活の公開と広報活動の充実」	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果で、生徒は学校のことを家庭でよく話している。あいさつができ、地域のかかわりも多い。</li> <li>オープンJHスクールでは、批判的な感想もあった。参観者が少なかった。</li> <li>「学年だより」「学級だより」は保護者との距離を縮め、月中行事など連絡にも大切。保護者にも浸透し、信頼されている。</li> <li>学校ホームページは本年度より新しい形になった。「たより」もファイルで貼り付けることができ良かった。</li> <li>部活動は保護者の協力なしでは成り立たない。部活動参観は一斉でなくてもよいので全ての部が行うべき。</li> <li>地域ボランティアに多くの生徒が参加していた。もっと評価してやりたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンJHスクールなど、平日は保護者は行きにくい。参観者が少ないとなると余計に。木、金、土など工夫を。</li> <li>「たより」「通信」はよくできている。特に「学級通信」は家庭の話題のネタになる。週1、月1でもいいからぜひ出して欲しい。</li> <li>ホームページは様子がわかり、行事の時間などよく見る。</li> <li>メールシステムは中学生に必要なものでは。今後検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンJHスクールは3日間2時間で適当だった。今のところ休日は難しい。</li> <li>「たより」は大切。「学級だより」は道徳感想も載せられる。保護者との会話のきっかけにもなる。担任裁量になるが、できるだけ出したい。</li> <li>ホームページはもっと充実したい。また、保護者連絡のメールシステムも今後検討すべき。</li> <li>部活動、体育祭や両中祭など、生徒の数が減るに従って、内容を検討する必要がある。</li> <li>小学校の「夏休みの保護者の奉仕活動」を中学校もしてはどうか。</li> <li>保護者の信頼は子どもがしっかり成長していることが大事。また、ていねいな対応が信頼につながる。大切にしたい。</li> </ul>